

# 医療従事者の多職種協働をめざしたNPO法人による 13年間のAMR対策の普及啓発活動とその成果

特定非営利活動法人 <sup>イービック</sup> **EBIC** 研究会  
The Japanese Society for Evidence-based Infection Control



科学的根拠に基づいた感染管理や感染症診療を目指して次の普及啓発活動を行なった。

## ■ セミナーと講習会 (表1)

最も多い参加者の職種は、セミナーでは「耐性菌」**看護師** 58%、「抗菌薬感受性検査結果の読み方」**医師** 47%、「抗菌薬適正使用」**薬剤師** 38%、講習会では「WHONET」**検査技師** 68%、「グラム染色(図1)」**医師** 48%であり、**医療従事者の多職種協働に寄与**できたと考える。参加者に実施した**アンケート**の「良かった」と「どちらかという良かった」の合計はいずれの企画も95%以上であり、**高い満足度**が得られた。

## ■ Webを利用したグラム染色標本の読み方 (表2)、(図2)

## ■ 抗菌薬感受性検査の精度保証プログラム

外部精度管理プログラムを2006年までに4回実施、12菌株配布、249施設が参加した。

表1. セミナーと講習会

活動内容 2004年9月～2018年9月	開催回数	参加人数	医師	薬剤師	看護師	検査技師	良かった	どちらかという と良かった	合計
耐性菌セミナー	3回	914名	17%	13%	<b>58%</b>	9%	69%	28%	<b>97%</b>
抗菌薬感受性検査結果の 読み方セミナー	22回	2,850名	<b>47%</b>	20%	14%	16%	76%	20%	<b>96%</b>
抗菌薬適正使用セミナー	3回	452名	33%	<b>38%</b>	13%	11%	81%	17%	<b>98%</b>
WHONET講習会 および活用事例報告会	21回	421名	13%	10%	7%	<b>68%</b>	76%	19%	<b>95%</b>
グラム染色実技講習会	5回	213名	<b>48%</b>	15%	6%	31%	92%	7%	<b>99%</b>

表2. Webによるグラム染色クイズ

実施期間	回数	配信先	配信数	回答数	回答率	正解数	正解率
2016年 1月～12月	24回	会員とWeb登録者に配信	28,096	3,755	13%	2,909	77%
2017年 1月～12月	24回	会員とWeb登録者に配信	29,462	3,461	12%	3,131	90%
2018年 1月～9月	12回	中級問題を会員に配信	1,693	332	21%	220	66%



図1. グラム染色実技講習会

### グラム染色クイズ

血液培養陽性検体のグラム染色像です。急性骨髄性白血病の患者で口腔内の炎症も軽度に認めました。

推定される菌を1つ選んで、「送信」をクリックして下さい。回答締切はX月Y日です。

- Enterococcus faecalis*
- Staphylococcus aureus*
- Staphylococcus epidermidis*
- Streptococcus pneumoniae*
- Streptococcus* spp. viridans group

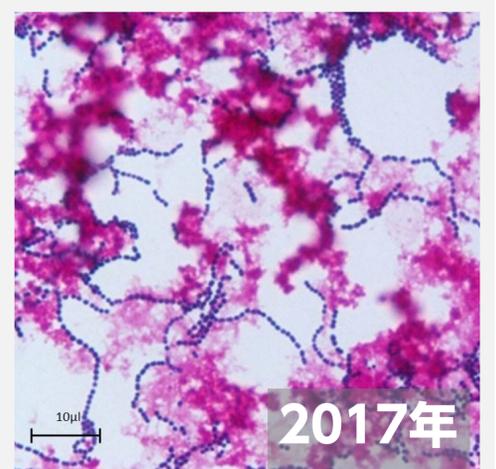


図2. グラム染色Webクイズ